



21:00～ 牛山教授、学生らとの懇親意見交換会

2. 場所 NHKホール  
明治大学 グローバルフロント 3階 講義室 他
3. 参加者 岩田 清 (辰野町)、木村 英雄 (箕輪町)、丸山 豊 (南箕輪村)、  
堀内 克美 (飯島町)、山崎 啓造 (中川村)、清水 正康 (宮田村)  
( )
4. 目的 (1) 町村議長会全国大会への参加  
(2) 県の町村議長会などでもご講演頂いている牛山先生と、若い学生の学びの場を見学させて頂き、意見交換をする中で、これからの地方議会、地方自治のあり方について調査する。

## 5. 内容

### (1) 全国議長会 全国大会

約 1800 名の町村議会関係者が出席。

1.開会のことば : 杉浦正省副会長 (京都府精華町議会議長)

2.国歌斉唱

3.会長あいさつ : 櫻井正人会長 (宮城県利府町議会議長)

- ・平成時代は地方分権が進んだ
- ・地方創生には危機感をもって取り組む
- ・大樹 (国) を支える根の役割を果たす町村を断ち切るような、合併の強制や道州制の導入といった政策を実施しないようにしてほしい

4.宣言 : 川上守副会長 (鳥取県若桜町議会議長)

「地方創生の実現をめざし、一致結束して果敢に行動していくこと」を宣言

5.来賓祝辞

安倍総理大臣「地方の活力なくして日本の活力なし。5 年目に入る地方創生の旗をさらに高く掲げていく。」

大島衆議院議長、伊達参議院議長、石田総務大臣、稲山地方創生総括官 (片山さつき地方創生担当大臣代理)、加藤自由民主党総務会長、荒木全国町村会長より。

6.来賓紹介

祝辞を頂いた来賓以外に、衆参両院あわせて 33 名の国会議員の先生方がご臨席。

7.議長団選出

井上利治福井県南越前町議会議長

野呂日出男青森県藤崎町議会議長

川本英輔広島県坂町議会議長の 3 名

8.議事

#### (1) 要望

国の平成 31 年度予算編成に対して、

「東日本大震災、熊本地震及び豪雨災害からの復旧・復興と大規模災害対策の確立」

など要望 34 件 (地区要望 9 件を含む)、

「議会の機能強化及び議員のなり手確保に関する重点要望」7点を本大会に提案することを、野沢温泉村議会議長の久保田三代理事が説明し、満場一致で決定。

(2) 決議

- 一 東日本大震災、熊本地震及び豪雨災害からの復旧・復興と大規模災害対策の確立を期する
  - 一 地方創生のさらなる推進を期する
  - 一 分権型社会の実現と道州制導入反対を期する
  - 一 町村財政の強化を期する
  - 一 議会の機能の強化及び議員のなり手確保を期する
  - 一 農林水産業振興対策の強化を期する
  - 一 中小企業振興対策の強化を期する
  - 一 環境保全対策の推進を期する
  - 一 情報化施策の推進を期する
  - 一 地域保健医療の向上及び医療保険制度の改善を期する
  - 一 少子化対策の推進及び社会福祉対策の強化を期する
  - 一 教育・文化の振興を期する
  - 一 交通及び生活環境の整備促進を期する
  - 一 消防体制の強化を期する
  - 一 国土政策の推進を期する
  - 一 基地対策の推進を期する
  - 一 過疎、豪雪及び離島等の特定地域の振興を期する
- を程内覺理事（愛媛県鬼北町議会議長）が朗読提案し、これを満場一致で決定。

(3) 特別決議

- ・ 東日本大震災、熊本地震及び豪雨災害からの復旧・復興と大規模災害対策の確立に関する特別決議

を西村昭教理事（北海道上富良野町議会議長）

- ・ 地方創生のさらなる推進に関する特別決議
- ・ 地方税財源の充実強化に関する特別決議

を松尾文則理事（佐賀県有田町議会議長）

- ・ 議会の機能強化及び議員のなり手確保に関する特別決議
- ・ 参議院選挙における合区の解消に関する特別決議

を川上守副会長（鳥取県若桜町議会議長）

それぞれ緊急かつ重要な課題として解決を図る必要がある5つの案件として、これを満場一致で決定。

また、豪雪地帯対策について、南雲正全国豪雪地帯町村議会議長会会長（新潟県湯沢町議会議長）が説明等を行い、これも満場一致で決定。

(4) 実行運動方法

- ・ 正副会長など役員は、直接官邸へ行き要請活動をする
- ・ その以外の町村議長は、地元の国会議員を通じて要請活動をする

- 9.ガンバローコール : 宮嶋三郎理事 (岐阜県神戸町議会議長)  
10.閉会のことば : 杉浦正省副会長 (京都府精華町議会議長)

・・・大会はここまで・・・

特別講演として、外交ジャーナリスト：手嶋龍一氏より

「激動の21世紀をどう生き抜くか～中・ロ・朝鮮半島情勢と日米同盟～」

アメリカの大統領選挙より・・・

- ・ 人口は少ないが自治に協力的な自治体と人口は多いが自治に協力的でない自治体で、当選する議員を人口で単純に割り当てて良いものか？
- ・ 2年後、トランプ氏の再選もありえる
- ・ 米中衝突の時代・・・
- ・ 9/30、南シナ海で両国の艦船が41mまで接近→一触即発の状態があった
- ・ ペンス副大統領は、対中強硬策を語る  
→米メディアは「新冷戦」と報じている・・・冷戦で済めば良い、という見方もある

ある

- ・ 1987年12月8日に当時レーガン氏、ゴルバチョフ氏でなされた調印（中距離核戦力全廃条例）をトランプ氏は離脱宣言。軍縮の流れを逆行。
- ・ 当然、中国も中距離核戦力を配備するようになるだろう。。  
→→今度の冷戦は、欧米ではなく、東アジアが主戦場となるだろう・・・。  
安全保障のコスト
- ・ 米ソ対立の冷戦期
- ・ アメリカは、自由主義自陣営の要石たる、日本やドイツを抱え込むために通商分野で自由を与えた
- ・ 今、北朝鮮の核へ目がいくが
- ・ トランプの米の核のほうも見なければいけない。また、中露の情勢も注視が必要。  
・・・といった話がありました。

他国の対立の話、、、ということではなく、日本にも大きな影響を与えることは必至であるという危機感を、我々も持たなければいけない、、、そんなことを感じました。

## (2) 明治大学での授業

明治大学：牛山 久仁彦 氏 (明治大学政治経済学部 教授)、吉澤 佑葵 氏 (明治大学政治経済学部 助手)、山岸氏、三浦氏、黒石氏、カツラギ氏、池谷氏、寺崎氏、山田氏、小林氏

まず、ガバナンス院生の論文の構想発表。三人の方が

### ① 昼間区民の政治参画について

② 分権時代に適合した都区制度について

③ 地方自治体の歳入の改善策について

といった自分のテーマに基づき構想発表。それぞれ念頭においている自治体の規模などは異なるかもしれませんが、

- ・ 昼間人口となる方々の政治参加
- ・ 分権時代の自治権の拡充と自主性・自立性の強化
- ・ 地方自治体の歳入の様々な策

など興味深い内容、上伊那の町村にも役に立つだろう話が多々あり、論文完成時には、是非、拝見させて頂きたいと思います。

その後、牛山先生より「分権時代における自治体議会のあり方」と題したミニ講義

・ 第一次分権改革（1995年～）において

成果として、以前は議会の力が及ばないものがあつたがそれが減つた

（自治体議会が行動を制限されるのは問題であつた）

→【首長・議会】二つの機関が競争し合うことが大切

・ 第二次分権改革（2000年～）において

成果として、法的に議会が強化された。

・・・自治体にやる気があればいろいろできるようになった

→強い首長が生まれるようになった

○ 人口減少や少子高齢化、経済などの変化によって自治体のあり方、住民生活が変わってきた（自治体のあり方で格差も）

⇒⇒ 自治体に地方分権を引き受ける覚悟があるのか

○ 二元代表制といつても【強い首長と弱い議会】

→自治体議会を取り巻く厳しい環境

- ・ 相次ぐ不祥事に住民からの厳しい視線
- ・ 「闘う首長」に翻弄される議会
- ・ 議員報酬
- ・ 二元代表制の機能不全

○ 自治体議員の機能と責任

- ・ 政治、行政への住民の広範な意見反映
- ・ 住民の合意形成
- ・ 住民の意見を踏まえた政策形成
- ・ 政策形成を踏まえた自治立法
- ・ 強大な首長権限のチェック（行政統制）

→また、コスト（民主主義のコスト）をどう考え、どう示すか  
議会の位置づけの検証も必要

○ 議会の機能について

- ・自治体議会の役割を縮小する議論ばかりで良いのか
  - ・住民の代表たる議会の地位の確認
  - ・首長の付属機関が議会に関与
- ⇒⇒ 議会事務局の体制の改革
- ・議会をめぐる法、制度の環境整備とサポート体制の確立

※ 議会が議会として機能することができる体制づくりが求められる

．．．

意見交換では

- ・ 町村総会の話は、人口減少、高齢化という地域社会の中で、やる人がいないから出た話（「やる」とは言っていない。現実、マスコミの報道から話が飛んでしまった。）
  - ・ 町村総会を行っても、継続して（毎年）行うことは難しいだろう
  - ・ 町村総会の案は、小さい自治体イジメであり、議会だけの話ではなく、自治体の問題と考えないといけない
  - ・ 国は、合理的などの理由で押し付けたい
  - ・ 人口とは？ 田舎は、「大学で東京へ行っても、住民票は田舎に残して！」というところもある
  - ・ 市町村合併は、合併して成功・失敗とあるが、残って良かったかどうかの検証も必要
  - ・ 小規模自治体は、合併してくれない中核市もある（今後はそういうケースはもっと増えるだろう）
  - ・ 市町村は、人口で振り回されている感がある
  - ・ 議会のあり方なども定数などそういったところがあるが、それぞれが今後どうすべきかが重要
  - ・ 二代表制は欠陥がある
  - ・ 車の両輪と例えることがあるが、議会はブレーキであり、方向を修正するところ
  - ・ ふるさと納税は、資源がある自治体と無い自治体で差があることが不公平
  - ・ それでいろいろ考えると、国から指導される
- と様々な意見が出たところで時間。。。

場所を移して懇親会でも、牛山先生、また若い皆さんと意見交換をさせて頂きました。単なる机上の話ではなく、また中央の話だけでもなく、現場も意識しながらの話が多く、とても参考になりましたし、是非、今後の研究結果を教えてくださいたいと思いました。

都心にいる学生や研究者の皆さんにも、地方議会、特に町村議会の現状をお話する中で、画一的な議会改革ではなく、それぞれの自治体に合った地方議会のあり方を追求することの必要性を、感じて頂けたのでは、と考えます。

以上